

# 令和4年度事業活動報告書

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

## 第1.事業活動の概要

令和4年度の我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、穏やかな持ち直しが続いている。

その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増している。

こうした下で、令和4年度の我が国経済については、実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.7%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は1.8%程度となることが見込まれる。

消費者物価（総合）については、エネルギーや食料価格の上昇に伴い、3.0%程度の上昇率になると見込まれている。

日銀仙台支店短観による東北地域の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては穏やかに持ち直しており、個人消費も持ち直しの動きが進捗している。

一方、住宅投資は弱い動きとなっており、消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

こうした厳しい状況下、私達運輸業界は、事業計画にある重点施策の12項目を中心に活動を推進してきた。

中でも、燃料高騰対策、社会問題に発展しているドライバー不足への対応・高速道路料金の大幅な引き下げ・長時間労働の是正や生産性の向上の改善等「働き方改革」の実現に向けた対策の推進・交通安全対策や環境対策に係る支援等に努めてきた。

特に、燃料価格の異常な高騰は、働き方改革・新型コロナウイルス等、課題が山積する中で運送事業者の経営に大きな影響を与えている。

全ト協、県・支部は、関係機関への要望活動、及び荷主企業に対する「燃料サーチャージ」の導入、「標準的な運賃」の活用に対する協力を求める広報活動等を展開してきた。

具体的には、令和4年度事業計画、及び各委員会や理事会の協議事項に基づき推進してまいりました。

## 第2. 事業活動

### 1. 交通安全対策

#### (1)交通事故の発生状況（宮城県警察調べ）

##### ①県内における事業用貨物自動車に係る交通事故の発生状況

令和4年中の事業用貨物自動車が第一当事者（加害者）となった交通事故の発生状況は、以下のとおりでありました。

◎発生状況	156件（前年対比 - 22件）
◎死亡事故	1件（前年対比 - 4件）
・件数	
・死者数	1人（前年対比 - 4人）
◎負傷者数	193人（前年対比 - 41人）

##### ②令和4年中の県内における交通事故の発生状況は、以下のとおりでありました。

◎発生状況	4,117件（前年対比 - 169件）
◎死亡事故	37件（前年対比 - 5件）
・件数	
・死者数	37人（前年対比 - 5人）
◎負傷者数	4,912人（前年対比 - 270人）

#### (2)各種交通安全運動等安全対策の推進状況

##### ①交通安全県民総ぐるみ運動への積極的参加

宮城県、宮城県警察本部、宮城県トラック協会をはじめとする宮城県交通安全対策協議会傘下の関係機関・団体による、春、秋の交通安全県民総ぐるみ運動、飲酒運転根絶強化運動及びシートベルト着用徹底運動等の通年運動に積極的に参加し、交通ルールの遵守と交通マナーの高揚に努め、交通事故のない安全で安心な交通社会の確立のため積極的な展開を図りました。

- ◎ 春の交通安全県民総ぐるみ運動 令和4年4月6日～4月15日（10日間）
- ◎ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動 令和4年9月21日～9月30日（10日間）

##### ②安全パトロール等の実施

幹線道路での広報活動、会員事業所への訪問等を各支部の役員を中心に、会員参加のもとに実施しました。

- ◎ 実施回数 91回
- ◎ 実施人員 233人（延べ）

#### (3)第36回交通事故防止コンクールの実施

年末・年始における繁忙期をとらえ、会員事業所総ぐるみ参加による交通事故防止運動を展開し、個々の事業所における連帯意識の醸成と安全意識の高揚を図るため、強力に実施しました。優秀事業所には、宮城県トラック協会長、宮城県警察交通部長の連名で賞状を贈り、これを賞揚しました。

- ◎ 実施期間 令和4年11月1日～令和5年1月31日
- ◎ 後援団体 東北運輸局宮城運輸支局、宮城県警察本部
- ◎ コンクール表彰事業所 218事業所

#### (4)第 54 回全国トラックドライバー・コンテストの開催

##### ①宮城県大会

- ・開催日 令和 4 年 7 月 23 日 (土)
- ・開催会場 宮城県トラック協会 4 階研修室
- ・後援団体 東北運輸局宮城運輸支局、宮城県、宮城県警察本部
- ・出場者 4 トン部門 9 名、11 トン部門 13 名、トレーラ部門 6 名、女性部門 4 名
- ・競技 学科競技 (交通法規・構造機能・運転常識) 80 問 400 点満点
- ・入賞者 巻末資料集参照

##### ②全国大会

宮城県大会の各部門において選抜された 4 名が宮城県代表として出場し、健闘しました。

- ・開催日 令和 4 年 10 月 22 日 (土)・23 日 (日)
- ・開催会場 自動車安全運転センター中央研修所 (茨城県ひたちなか市)

#### (5)宮城県トラック協会「冬季事故防止強化運動」の実施

近年、大型車による車輪脱落事故の発生が増加傾向にあることを受け、従来より取り組んできている「交通事故防止コンクール」に「車輪脱落事故防止強化運動」を加え、「冬季事故防止強化運動」とし取り組みました。

##### ①第 36 回交通事故防止コンクール

期間：令和 4 年 11 月 1 日～令和 5 年 1 月 31 日

##### ②車輪脱落事故防止強化運動

期間：令和 4 年 10 月 1 日～令和 5 年 2 月 28 日

10 月：冬用タイヤ点検・準備期間

11 月：自主点検強化月間

12 月～2 月：増し締め強化月間

取組：11 月 自主点検結果の報告 (ホイール・ナットの緩み等の点検、増し締め等の実施)

12 月～2 月 FAX・ホームページによる広報啓発活動

11 月～2 月 ラジオ CM による車輪脱落事故防止の広報啓発活動

事故防止啓発品として、マーキング用マジック、東北トラック協会制作「走る前、左後輪点検キャンペーン」動画を DVD にし、車内貼付用ステッカー 2 種と合わせて全会員事業者へ配布しました。

#### (6)各種研修会及び事故防止決起大会等の実施

##### 【研修会】

##### ①安全運転者研修 (各支部開催)

- ・開催回数 20 回
- ・受講人数 1,056 名

②初任運転者特別指導講習（本部開催）

- ・開催回数 3回
- ・受講人数 187名

③健康起因事故防止セミナー（全ト協カリキュラム）

- ・開催日 第1回令和4年6月28日（火）、第2回9月21日（水）
- ・受講人数 第1回40名、第2回42名
- ・講師 SOMPO リスクマネジメント(株) 加藤純樹様

④飲酒運転事故防止セミナー

- ・開催日 令和4年10月21日（金）
- ・受講人数 115名
- ・講師 （一財）杜の都産業保健会 副理事長（医師）洞口正之様
- ・演題 飲酒：人体への様々な影響

⑤車輪脱落事故防止研修会

- ・開催日 令和4年9月26日（月）大崎支部  
28日（水）仙南支部  
10月11日（火）石巻支部  
12日（水）登米・本吉支部  
13日（木）気仙沼支部（アーバン）  
17日（月）本部
- ・受講人数 大崎支部会場36名、仙南支部会場34名、石巻支部会場24名  
登米本吉支部会場21名、気仙沼支部会場13名、本部会場80名
- ・講師（座学）ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)様  
（実技）ブリヂストンタイヤサービス東日本(株)様

⑥通信教育型初任運転者指導講習「グッドラーニング!」（新規取組事項）

令和4年5月よりeラーニングによる初任運転者指導講習を導入しました。これにより事業所や従業員の都合に合わせて受講することが可能となりました。

- ・申込み者数 188名

⑦プラン2025目標達成セミナー（全ト協カリキュラム）（新規取組事項）

- ・開催日 令和4年8月26日（金）
- ・受講人数 88名
- ・講師 SOMPO リスクマネジメント(株) 中濱春樹様

【決起大会】

①交通・労災事故防止・飲酒運転根絶総決起大会（本部）

- ・開催日 令和4年10月21日（金）
- ・開催会場 宮城県トラック協会4階・3階研修室
- ・参加者 115名

②各種事故防止決起大会等（各支部） ※巻末資料集参照

(7)事故防止に係る各種助成事業

①アルコールチェッカー機器導入に対する助成

- ②安全装置等（バックカメラ等）導入に対する助成
- ③ドライブレコーダー機器導入に対する助成
- ④事故防止研修会等の開催・参加に対する助成
- ⑤運転経歴証明書取得に対する助成
- ⑥適性診断（一般診断、初任診断、適齢診断）受診に対する助成
- ⑦ドライバー等安全教育訓練に対する助成（ドライバー等研修の受講料一部助成）

※各項目の詳細については、巻末資料集参照。

#### (8)交通安全広報活動

トラック協会が交通事故防止に対して、業界を挙げて取り組んでいることを、広く県民に知っていただくため、メディア、啓発グッズ等の配布を通じて以下の活動を積極的に推進してきました。

- ①交通事故防止、飲酒運転根絶を呼び掛けるラジオスポット放送の実施  
朝の通勤時間帯にあわせて内容を変え、年間で約 260 回放送
- ②新入学シーズンにあわせて、新小学 1 年生に「黄色い手帳」を贈るキャンペーンに協賛しました。
- ③交通安全運動期間に合わせて、ウエットティッシュや反射材等啓発品を作製し、会員、一般の方々へ配布し、交通安全、飲酒運転根絶の啓発を図りました。
- ④宮城県警察本部との共同印刷による刊行物の配布（チラシ・ポスター）
- ⑤協会本部エントランスに「事故防止啓発コーナー」を設置（新規取組事項）

事故事例やその他事故防止啓発資料等を配置し、来館者が手に取りやすく、社内の安全会議等での活用を促進しました。

#### (9)その他事故防止に係る活動

- ①自動車点検整備推進運動における大型自動車の重点点検の実施
  - ・実施期間 令和 4 年 9 月 1 日～11 月 30 日
  - ・対象者 50 両以上かつ大型自動車を保有している事業者 78 社
  - ・回答数 66 社（回答率 84.6%）
- ②年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施
  - ・実施期間 令和 4 年 12 月 10 日～令和 5 年 1 月 10 日
  - ・回答数 1,072 事業所（回答率 87.6%）
- ③宮城運輸支局「大型車のホイール・ボルト、ナットの増し締め体験会」への協力
  - ・実施日 令和 4 年 11 月 22 日（火）
  - ・場所 トラック協会臨時駐車場
  - ・協力内容 増し締め体験用の大型車両の供出。
- ④車輪脱落事故防止にかかる自己チェックアンケートの実施
  - ・実施期間 令和 5 年 1 月 14 日～20 日
  - ・回答数 772 事業所

#### ⑤事故防止啓発グッズの配布（東北トラック協会作製）

車輪脱落事故防止に向け、車内貼付用ステッカー 2 種と、「走る前左後輪点検キャンペーン」動画を DVD にして全会員へ配布しました。

⑥協会職員の ASK 飲酒運転防止インストラクター養成講座の受講（新規取組事項）

・資格取得 職員 3 名

⑦東北地域事業用自動車安全対策会議における分科会への参画

総合安全プラン 2025 の事故削減目標に向けて「飲酒運転根絶」、「車輪脱落事故防止」を重点取組課題とし、事故防止対策の取組み等について協議、意見交換等積極的に行った。

【分科会委員】

- ・ 第一貨物(株)
- ・ 東北三八五流通(株)
- ・ 東北新潟運輸(株)
- ・ (株)仙台配送

⑧東北トラック協会「事故防止ワーキンググループ」への参加

総合安全プラン 2025 の事故削減目標の重点課題である「飲酒運転根絶」、「車輪脱落事故防止」における事故防止対策の統一取組みについて協議、各県の取組み等について情報交換を積極的に行った。

## 2. 環境対策推進事業

### (1)環境対策の推進

- ①全日本トラック協会策定の「環境対策中期計画」を環境対策の柱として、積極的に推進するよう啓発しました。
- ②ラジオ CM により、環境保全対応の PR と社会への呼びかけを、年間を通じて実施しました。
- ③ポスト新長期規制適合車の導入のための融資に対して、利子補給を行いました。

### (2)環境対策助成事業

地球温暖化防止及びアイドリングストップの実施を基本に、環境対策としての助成事業を実施しました。

- ①環境対応車（ハイブリッド車等）導入に対する助成
- ②EMS 機器（デジタコ）導入に対する助成
- ③アイドリングストップ支援機器（ヒーター、クーラー）導入に対する助成
- ④グリーン経営認証制度の登録・更新に対する助成

## 3. 貨物自動車運送適正化事業の推進

### (1)適正化事業推進体制の維持強化

#### ①指導体制の確保

・指導員を 7 名配置し、事業の計画実行と公正かつ着実な推進に努めました。また、コロナ禍の中ではありましたが、東北ブロック指導員研修会の宮城県開催および指導員全国研修にも参加し、指導員の指導技術向上を図りました。

・行政との連携強化について

毎月巡回指導計画書及び実態調査指導報告書を宮城運輸支局に提出し、支局担当官との情報交換を行い、巡回指導対象事業所選定等の連携強化に努めました。

また、運輸行政 4 回（3 月開催分には労働局出席）の連絡会議を開催し、平成 27 年 9 月実施の「乗

務時間等告示違反事業所に対する特別巡回指導」や9月から半年間実施した「大型車の車輪脱落防止キャンペーン」等に関する情報及び意見交換を行い、連絡体制の強化を図りました。

## ②巡回指導の実施状況

### ・巡回指導事業所及び評価

令和4年度の巡回指導事業所数は、合計810事業所計画しました。新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じ、各事業所様のご理解とご協力をいただき、通常巡回752、特別巡回11、霊柩個別指導50、合計813事業所様の巡回指導を実施させていただきました。

総合評価の低い指導の必要性の高い事業所に重点をおいた指導内容および巡回頻度とし、改善指導を徹底し、また、指摘事項の上位にある整備管理者の研修、特定運転者に対する特別な指導および必要な適性診断、点呼の確実な実施等について強化いたしました。

総合評価は表のとおりで、総合的評価にかかわらず改善を要する410事業所に対し、改善報告書の提出を求めました。

評価	A	B	C	D	E	小計	その他	合計
件数	507件	200件	30件	7件	0件	744件	69件	813件
比率	68.1%	26.9%	4.0%	1.0%	0.0%	100.0%		

※その他評価を除く巡回件数のAおよびB評価の占める比率は95.0%

## ③調査事項の指導内容

調査件数の3.2%に当たる819件の改善指導を行いました。指導内容は表のとおりで、特に、運行管理等における特定運転者への指導教育の実施（事故歴把握を含む）、特定運転者への適性診断の受診、過労運転、および車両管理等の整備管理者研修が改善事項として数多く指導の対象となっています。

調査事項	事業計画等	帳票類の整備報告等	運行管理等	車両管理等	労基法等	法定福利費	運輸安全管理	計
件数	28件	39件	484件	183件	63件	5件	17件	819件
率	3.4%	4.8%	59.1%	22.3%	7.7%	0.6%	2.1%	100%

※運輸安全管理の調査は平成30年4月から開始となる。

## (2)輸送秩序確立対策の推進

### ①輸送秩序確立等に係る指導

令和4年度は、「適正化情報2020」の活用と「運行管理業務マニュアル」、「一般的な指導及び監督の実施マニュアル」を配布し、指導事項の説明を行い指導いたしました。

また、大型車の車輪脱落事故防止及び健康起因事故防止の啓発、更に貨物自動車運送事業輸送安全規則と貨物運送事業法の一部改正等についてもリーフレットを配布しながら説明を行い指導いたしました。

### ②輸送の安全確保対策の推進

- ・街頭パトロール等による啓発活動を実施しました。(19回、延べ38名)
- ・行政が実施する街頭検査は7回実施しました。

### ②苦情の処理

利用者及び事業者等からの苦情の申し出に対し、関係事業者に処理、解決促進方を要請し処理の迅速化に努めました。

処理件数	危険運転等	引越等	違法駐車等	労働条件等	宅配関係等	環境問題・不正改造等	その他	計
	38件	0件	6件	0件	0件	0件	4件	48件

### (3)適正化啓発事業の推進

国土交通省、全日本トラック協会、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関連名の「悪質性の高い行為の見られた営業所に係る速報制度強化」リーフレットを巡回指導時に配布して、速報事案に係る行政処分基準の強化を周知し、法令遵守の啓発に努めました。

### (4)宮城県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催

宮城県貨物自動車運送適正化事業実施機関の組織・運営の中立性及び透明性の確立を図り、適正化事業の公正かつ着実な推進に資するため平成15年度に設置。令和4年度は2回開催しました。

### (5)安全性評価事業の推進

平成15年度からスタートした貨物自動車運送事業安全性評価事業の円滑な推進に努めました。

令和4年度度は178事業所の申請があり、結果176事業所が「安全性優良事業所」に認定されました。令和4年12月末現在の県内の「安全性優良事業所」は678事業所となりました。

## 4. 緊急輸送対策事業

### (1)各種防災訓練等への参加

自然災害・震災時における救援物資等の集配活動を行うために宮城県及び各市町村との災害時緊急物資輸送協定書に基づき各種訓練に参加し、災害時の円滑な連絡体制及び、物資輸送を目的に自治体と連携して緊急輸送訓練の実施を行いました。※詳細巻末資料集参照。

### (2)自治体からの輸送依頼への対応

宮城県と締結している協定をもとに、宮城県等から依頼があった輸送に対し、緊急輸送対策特別委員会の委員事業者を中心とした会員の協力を得て対応しました。

#### ①高病原性鳥インフルエンザ防疫措置に関する輸送

- ・輸送日 令和4年 4月 5日 門馬商運(株) (中型テールゲート)
- 〃 (有)大士運輸 (大型テールゲート)
- 11月28日 (株)ワコー (小型テールゲート)
- 11月29日 (有)花道 (中型テールゲート)
- 令和5年 2月14日 (株)仙台配送 (中型テールゲート)

### (3)災害時物流専門家研修(全ト協カリキュラム)の開催(新規取組事項)

- ・開催日 令和4年 8月18日(木)、19日(金)
- ・受講人数 11名(緊急輸送対策特別委員会委員・協会職員)
- ・講師 (株)NX 総合研究所



## 5. 燃料費対策の推進

### 【(公社)全日本トラック協会燃料高騰対策】

1 令和4年4月6日

- ・燃料価格高騰・価格転嫁対策に係る加藤勝信自由民主党トラック輸送振興議員連盟会長代行への要望活動
- ・公明党トラック議員懇話会、ハイヤー・タクシー振興議員懇話会、バス振興議員懇話「合同緊急政策要望懇談会」における要望活動

2 令和4年〇月28日

- ・原材料価格、エネルギーコスト等の上昇に係る適切な価格転嫁等に関する下請事業者等に対する配慮について経済産業大臣・公正取引委員会委員長連名の要請文書を発出

3 令和4年8月24日

- ・燃料価格激変緩和措置等の延長に関する西村康稔経済産業大臣、斉藤鉄夫国土交通大臣への要望活動
- ・自民党及び公明党トラック、ハイヤー・タクシー、バス議員懇話会合同コアメンバー会議に出席し燃料価格激変緩和措置等の延長に関する要望活動

4 令和4年9月5日

- ・燃料価格激変緩和措置等の延長に関する自由民主党トラック議連、全日本トラック協会による萩生田光一自由民主党政務調査会長への要望活動

5 令和4年9月6日

- ・燃料価格激変緩和措置等の延長に関する自由民主党トラック議連、全日本トラック協会による西村康稔経済産業大臣、斉藤鉄夫国土交通大臣、鈴木俊一財務大臣への要望活動

6 令和5年3月1日 国土交通省告示第147号

- ・「燃料サーチャージの算出方法等」の告示について

## 6. 経営改善対策

### (1)助成事業

- ①金融機関から運転資金の融資を受けた場合に、その利子の一部を助成しました。(46社)
- ②セーフティネット保証等の認定を受けた融資に係る信用保証協会保証料を支払った場合に、その費用の一部を助成しました。(7社)
- ③点呼支援機器等（自動点呼に係る支援機器）を導入した場合に、その費用の一部を助成しました。(1社)
- ④自家用燃料供給施設を新設・増設した場合に、その費用の一部を助成しました。(1社)

### (2)各種研修会等の開催

- ①トラック運送事業者のための人材確保セミナー（全ト協カリキュラム）  
令和4年11月29日開催 36名出席
- ②標準的な運賃活用セミナー（全ト協カリキュラム）  
令和4年10月3日開催 69名出席

③ 4 支部（仙台、仙南、石巻、塩釜）と共催で、物流セミナーを 4 回開催しました。

④ 2024 年問題対応セミナー（新規取組事項）

令和 4 年 9 月 16 日開催 90 名出席

各支部、青年部会でも開催した。※巻末資料集参照

### (3)近代化基金の利子補給事業

①近代化基金一般融資

・融資限度 個別企業 6,000 万円限度

・利子補給率 0.3%

②環境対応車・省エネ関連機器導入融資

・融資限度 個別企業 6,000 万円限度

・利子補給率 0.3%

③ポスト新長期規制適合車導入融資

・融資限度 個別企業 1 億円限度

・利子補給率 0.3%

④融資推薦状況

金融機関	区 分	融資推薦枠	融資推薦状況		
			申込数	台数等	融資額
商工組合 中央金庫 仙台支店	近代化基金一般融資	3 億円	7 件	19 台	121,628,000 円
	環境対応車・省エネ 関連機器導入融資	3 億円	0 件	0 台	0 円
	ポスト新長期規制適合車導入融資	12 億円	40 件	44 台	593,387,000 円
合 計		—	47 件	63 台	715,015,000 円

(注) 一般融資には、車両の他に倉庫建設や休憩室建設などありますが、ここでは車両台数のみを記載しています。

⑤利子補給額

区 分	利子補給額	左のうち全日本トラック協会からの助成額
近代化基金一般融資	1,241,676 円	—
環境対応車・省エネ 関連機器導入融資	27 円	9 円
ポスト新長期規制適合車導入融資	5,572,714 円	1,857,573 円
合 計	6,814,417 円	1,857,582 円

(注) 利子補給額の対象には、令和 4 年度より前に融資推薦したものも含まれています。

## 7. 人材育成（研修）対策

(1)運行管理者試験（国家試験）受験対策講座

・開催日 第 1 回令和 4 年 8 月 2 日（火） 第 2 回令和 5 年 1 月 31 日（火）

・受講者数 第 1 回 102 名 第 2 回 96 名

・講師 (株)輸送文研社専任講師

## (2)中小企業大学校仙台校の研修（経営者、管理者等が対象）受講料の一部を助成

1社（2名）

## (3)青年部会の活動

### ①通常総会並びに役員会

令和4年5月27日（金）宮城県トラック協会にて開催し、令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について審議をしました。

役員会については年度内計5回開催しました。

### ②社会貢献活動

各支部の青年部は、支部ごとに幹線道路の清掃作業や植栽による美化活動、献血運動等の奉仕活動を実施し、地域に貢献しました。

### ③令和4年度意見交換会（新規取組事項）

部会役員と支部青年部員で業界が抱えている諸課題の対策に対して意見交換会を開催し、今年度は石巻支部で開催しました。

意見交換会に引き続き交流会も開催し、部会役員と支部青年部員の連携の強化を図りました。

### ④（公社）山形県トラック協会青年部会との社会奉仕活動の共同実施（新規取組事項）

近隣県ト協青年部会との連携の強化と交流を目的として、今年度は山形県の青年部会と国道48号線の清掃活動を共同で行いました。

活動に引き続き、参加者で交流会を開催し交流を深めました。

### ⑤東北トラック協会青年部会

年度内4回の役員会を開催し、研鑽と情報交換及び交流を図りました。

東北ブロック大会については、令和4年9月22日（木）にホテルメトロポリタン山形（山形県山形市）で現地とLive配信によるハイブリット形式での開催となり、役員並びに部会員が参加しました。

また、3月17日（金）には「物流DX研修会」が宮城県トラック協会にて開催され、当部会からも役員をはじめ、多くの部会員が参加をし、研鑽を深めました。

### ④（公社）全日本トラック協会青年部会

- ・全国代表者協議会（年度内3回）への出席（部会長）
- ・全国大会への参加

令和5年2月17日（金）に京王プラザホテル（東京都新宿区）で開催され、現地には役員が参加し、部会員はLive配信視聴による参加となりました。

## (4)女性部会の活動

### ①通常総会並びに役員会

令和4年6月24日（金）、「宮城県トラック研修センター」にて、（公社）宮城県トラック協会女性部会通常総会を開催し、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画（案）について審議しました。役員会は年度内に4回開催しました。

### ②社会貢献活動

社会貢献活動の一環として、国際協力支援団体等への寄贈を目的として本部、支部、適正化事

業部に収集箱を設置して使用済み切手を収集し、選別作業を行いました。

③交流及び情報交換

令和4年11月28日(月)、「仙南輸送サービスセンター」にて、女性部会役員及び仙南支部会員事業所女性役員・社員が集まり、女性の視点から意見を出し合い課題・情報を共有し見識を深めながら交流を図りました。

④東北ブロック女性協議会

令和4年11月11日(金)東北ブロック研修会が秋田県で開催され、役員、部会員が参加しました。また、年度内に3回役員会が開催され、役員が参加しました。

⑤(公社)全日本トラック協会女性部会

令和4年11月11日(火)に全ト協女性部会全国研修会、令和5年3月20日(月)にも研修会がWeb開催され、ともに宮城県トラック研修センター会議室にて参加をしました。また、全ト協女性部会正副部会長会議及び代表者協議会(Web開催及び東京開催)へ出席しました。(部会長)

## 8. 労働対策事業

### (1)助成事業

- ①睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査費用の一部助成 69社(1,453名)  
睡眠時無呼吸症候群(SAS)入院検査の費用の一部助成 11社(23名)
- ②脳ドックの費用の一部助成 15社(59名)
- ③運転者健康診断の費用の一部助成(8支部で10,761名)
- ④自動車運転免許(準中型、中型、大型、けん引等)取得費用の一部助成 127社(184名)
- ⑤フォークリフト運転技能講習費用の一部助成 21社(33名)

### (2)人材確保対策の積極的な推進

①ハローワーク仙台「運輸(トラック)基本セミナー」講師派遣の協力

開催日時:令和4年5月18日(水)14:30～15:30

令和4年8月19日(金) 〃

令和4年9月16日(金) 〃

令和5年1月13日(金) 〃

令和5年3月14日(金) 〃

開催会場:ハローワーク仙台

派遣講師:宮城県トラック協会 業務部課長 佐々木智史

講演演題:いま伝えたいトラックドライバーという仕事

②各種媒体を利用した広報活動

◎(一社)宮城県サッカー協会とのタイアップによる広報活動

- ・「宮城県トラック協会杯」の開催(中学、高校、大学・一般)
- ・松島フットボールセンター(松島町)敷地内に大型看板等の掲出
- ・サッカー協会ホームページにトラック協会ホームページのバナーの掲出

- ◎「トラックドライバー」リクルートポスターの掲出
  - ・掲出場所：宮城県運転免許センター（泉、古川、石巻）
  - JR 各駅（名取、古川、大河原、石巻、白石、亘理、小牛田、鹿島台、陸前山下）
- ◎ FM ラジオ番組提供
  - ・ドライブイン銀杏坂トワイライトストーリー 毎週金曜日夕方
- ③求人サイトの開設（新規取組事項）
  - 会員事業者の求人情報を掲載できるようになりました。

## 9. 引越事業者優良認定制度の推進と消費者サービス向上に向けた支援

### (1)引越講習会の開催

#### ①引越基本講習

令和4年9月12日 宮城県トラック研修センター 21名受講

#### ②引越管理者講習

令和4年9月13日 宮城県トラック研修センター 35名受講

### (2)トラック輸送相談所の常設

### (3)引越繁忙期に合わせて分散引越の広報

## 10. 広 報 活 動

### (1)「トラックの日」の広報活動

#### ①「みやぎトラックの森」づくり（植樹活動）

宮城県と仙台市と植樹活動に係る3者協定を締結し、仙台市若林区荒浜地区の海岸防災林再生活動に参画し、植樹により環境保全と防災の両面に寄与する活動として、植樹を行いました。

活動は、青年部会並びに女性部会の部会員を中心に、協会役職員も合わせて32名で行いました。

#### ②（公財）日本盲導犬協会へトラックをモチーフとしたイラストのラッピングを施した車両を寄贈にかかる協賛金の出資。

#### ③気仙沼リトルシニア創立記念親善少年野球大会に協賛し、「宮城県トラック協会 CUP」の開催。

大会当日は、気仙沼支部青年部が大会運営の支援を行い、球場内にはトラックドライバーの人材確保をテーマとしたターポリンを掲示しPRしました。

#### ④「トラックの日」ラジオ特別番組の放送

10月9日のトラックの日に合わせ、10月中に計5回放送し、事業用トラックの重要性と合わせて「標準的な運賃」の理解を広く県民にPRしました。

○ラジオ局 Date fm

○放送日

・10月 5日（水）「トラックの日」における社会奉仕活動について

出演：塩釜支部青年部長 門馬正人

・10月 7日（金）「トラックの日」における社会奉仕活動について

出演：石巻支部青年部長 鈴木栄一

「トラック運送業界」について

出演：業務部課長 佐々木智史

・10月12日（水）「標準的な運賃」について

出演：仙台支部長 菊地徹

・10月19日（水）「トラック運送業の社会における重要性」について

出演：協会長 庄子清一

・10月26日（水）『「みやぎトラックの森」づくり』について

出演：青年部会長 小野寺敦志

## (2)トラック業界の役割と重要課題に対する広報

### ①交通安全対策

- ・ラジオスポット放送の実施（TBC ラジオ 月・水・金の朝）
- ・「黄色い手帳」の協賛
- ・啓発グッズの作製及び配布（ウエットティッシュ、反射材等）
- ・宮城県警察本部との共同印刷による刊行物の配布（チラシ・ポスター）
- ・ホームページに掲載（メルマガ配信）による通行規制情報の発信
- ・「事故防止啓発コーナー」の設置

### ②環境対策

- ・ラジオスポット放送の実施（TBC ラジオ 火・木の朝）

### ③人材確保対策

- ・ラジオ番組の提供（Datefm 毎週金曜の夕）
- ・リクルートポスターの掲出（運転免許センター、JR 駅）
- ・（一社）宮城県サッカー協会とのタイアップによる広報活動

### ④「標準的な運賃」の理解の深度化

- ・テレビコマーシャルの放送

「標準的な運賃」の理解の深度化を目的とした動画を制作し、報道、情報番組を中心に放送しました。

特に令和5年3月期には集中的に放送し、強力に啓発を図りました。

令和4年7月～令和5年3月 月22～24回（ミヤギテレビ・仙台放送・東日本放送）

令和5年3月 月160回（ミヤギテレビ・東日本放送・東北放送）

- ・「標準的な運賃」パンフレット（東北トラック協会作製）の配布

東北トラック協会が作製したパンフレット2種（事業者向け・荷主向け）を全会員へ配布し、協会ホームページにも特設ページを設け、いつでも活用できるようにしました。

### ⑤2024年問題の理解促進

- ・河北新報への広告掲載

2024年問題を荷主・一般消費者に向け広く周知を図るべく、新聞紙面に広告を掲載しました。

掲載日：令和5年3月12日（日）朝刊

〃 19日（日）朝刊

・河北新報特集記事への対応

2024年問題について、河北新報の特集記事の取材依頼に対し、会員事業者の協力により、記事が掲載されました。

掲載日：令和5年3月23日（木）回答者：(有)亀甲運輸・(株)白真倉庫

〳 24日（金）回答者：古川貨物(株)

〳 25日（土）回答者：(株)薬師運送・(株)大昇物流

〳 28日（火）回答者：(公社)宮城県トラック協会

・協会ホームページに「2024年問題」特設ページの設置

改善基準告示のリーフレットや、荷主向けリーフレット等を掲載し、いつでもダウンロード可能としました。

### (3)協会報の発行

令和4年度は、協会報を第235号～237号の3回発行し活動内容の周知に努めました。

### (4)ホームページの充実

行政機関、助成事業、適正化事業等、様々な情報を迅速に発信するように努めました。

新たに「求人サイト」「通行規制情報」「標準的な運賃」「2024年問題」の特設ページを設けました。

また、通信教育型初任運転者指導講習「グッドラーニング!」の受講申込をホームページから出来るように導入しました。

## 11. (公社)全日本トラック協会の取組み

### 【令和4年度トラック関係施策に関する要望項目】

#### I 税制改正関連要望項目

##### 1 新型コロナウイルス感染症に係る各種軽減措置

##### 2 自動車関係諸税の簡素化・軽減等

①自動車関係諸税の簡素化・軽減

②自動車税における営自格差見直し反対

③自動車重量税の道路特定財源化

##### 3 特例措置の延長

①物流総合効率化法に基づく特例措置の延長

②少額資産即時償却の延長

③地方拠点強化税制の延長

##### 4 トラック協会が運営する地域防災・災害対策関連施設等について固定資産税の軽減措置の適用

#### II 道路関連要望項目

##### 1 高速道路料金等の引下げ

①新型コロナウイルス禍における料金割引の拡充

・大口・多頻度割引を実質50%割引に拡充（NEXCO3社）

・車種間比率激変緩和措置の延長（首都高速、阪神高速、名古屋高速）

②労働環境改善および交通流動最適化を図る料金制度

- ・長距離通減割引の拡充（NEXCO3社）
- ・深夜割引の拡充（NEXCO3社）
- ・渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定（NEXCO3社、首都高速、阪神高速）
- ・首都高速等における割引制度の拡充
- ・福岡・北九州圏におけるシンプルでシームレスな高速道路料金

③本四高速における割引制度の拡充

④フェリー等利用に対する補助・助成制度の創設

## 2 物流基盤の整備

①高速道路ネットワークの整備・充実

- ・「重要物流道路」の指定、指定道路への集中投資
- ・暫定2車線区間の4車線化
- ・ミッシングリンクの解消
- ・渋滞対策の推進
- ・ダブル連結トラックや隊列走行・自動運転の推進に資する実施環境整備の推進
- ・下関北九州道路の早期実現

②休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充

- ・高速道路のSA・PA、道の駅における駐車スペースの整備・拡充
- ・シャワー施設等、休憩・休息建屋内の施設の充実
- ・中継物流拠点の全国展開による中継輸送の推進

## 3 その他諸施策の推進

①冬期における交通対策

- ・冬期における道路交通の確保
- ・大雪時の躊躇ない通行止め

②自然災害時の高速道路料金

③ETC2.0によるサービスの充実

④特殊車両通行に係る手続きの簡素化、短期間化

⑤超過度を反映した特車通行許可違反点数制度

## Ⅲ 予算・施策関係要望項目

### 1 新型コロナウイルス感染症予算要望

- ①事業継続に困窮するトラック事業者への支援
- ②雇用調整助成金特例措置の継続
- ③雇用の維持に関する各種助成金の継続
- ④エッセンシャル事業に対する支援

### 2 働き方改革予算要望

- ①標準的な運賃の普及・浸透に向けた支援



②働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の拡充

### 3 環境・交通安全予算要望

①環境対策及び省エネ対策のための補助

- ・石油石炭税の「地球温暖化対策のための課税の特例」に係る補助の継続
- ・次世代自動車等の普及に係る補助の継続・拡充

②交通安全対策のための補助

- ・ASV（先進安全自動車）関連機器の導入に対する補助の拡充
- ・デジタル式運行記録計、ドライブレコーダ等運行管理支援機器の導入に対する補助の継続及び拡充

### 4 施策要望

①市街化調整区域に係る法制度の見直し

## 12. 東北運輸局と東北トラック協会との懇談会

(1)日 時 令和5年1月20日（金）

(2)場 所 メトロポリタン仙台

(3)懇 談

(a) 各県トラック協会現況等説明

(b) 東北トラック協会の取組み

- ・車輪脱落事故防止（「走る前、左後輪点検キャンペーン」動画作成  
車輪脱落事故防止ステッカー送付 93,000 枚×2種）
- ・飲酒運転事故防止（ASK 飲酒運転防止インストラクター育成推進）
- ・標準的な運賃の深度化（荷主・元請企業と運賃交渉するためのツールとするパンフレットを作成及び配布）
- ・その他の取組み  
東北トラック協会事業者大会において事故防止決起大会の開催  
東北トラック協会「事故防止ワーキンググループ」の実施

### 第3. 庶務事項（令和5年3月31日現在）

1. 会 員 1,221名
2. 役 員 理事39名（専務理事、常務理事含む）、監事3名 計42名
3. 事務局 常勤役員：専務理事、常務理事  
調査役  
適正化事業部：部長、次長、課長、主任  
総務部：次長、交付金課長代理、経理係長、係員  
業務部：課長、係長、主任、係員

### 4. 表 彰

- (1)東北運輸局長表彰（功労者） 3名  
(2)東北運輸局長表彰（運転者） 7名  
(3)宮城運輸支局長表彰（功労者） 2名  
(4)宮城運輸支局長表彰（運転者） 11名  
(5)優良運転者表彰（緑十字銅章） 1名

※受賞者については巻末資料集参照

### 5. 全日本トラック協会通常総会・全国トラック運送事業者大会

#### (1)通常総会

第99回通常総会

- 日 時 令和4年6月30日（木）  
場 所 第一ホテル東京「プリマヴェーラ」  
議 事 第1号議案 令和3年度事業報告書について  
第2号議案 令和3年度計算書類（貸借対照表（案）、正味財産増減計算書（案）、財産目録（案）及び収支計算書（案））の承認について  
第3号議案 理事の選任・退任（案）について

#### (2)第27回全国トラック運送事業者大会

- 日 時 令和4年10月5日（水）  
場 所 名古屋市中区「名古屋東急ホテル」
- 出席者 約1,000名
  - 第一分科会 「健康経営への取組と交通事故防止対策の推進について」  
第二分科会 「ドライバーの確保・（働き方改革）への対応について」
  - 記念講演 「戦国武将の経営学」歴史研究家 井沢元彦氏
  - スローガン
    - ・燃料高騰対策等の推進を図ろう
    - ・「標準的な運賃、燃料サーチャージ」の活用等による適正な運賃・料金収受を推進しよう
    - ・荷主対策の深度化により取引環境の改善を図ろう
    - ・働き方改革の推進により労働条件の整備向上を図ろう
    - ・多様な施策によるドライバーの確保を図ろう

- ・交通事故及び労災事故の防止対策、物流 DX 及び環境・SDGs 対策を推進しよう
- ・高速道路料金の割引の拡充及び広域道路ネットワークの整備など使いやすい道路を実現しよう
- ・適正化事業等を推進し公正な競争を確保しよう
- ・大規模災害発生時における緊急輸送体制を確立しよう
- ・パンデミックにおける適切な対応を図ろう